

2018年ナショナルカンファレンス

ランス・ワルノー

2018年11月2日金曜日PMセッション

ありがとうございます。すでに歴史を変え始めている皆さんに感謝します。世界中を旅している人でなければ、アメリカ人は、どれほど多くの国々がアメリカのために祈ってくれているか知らないと思います。一部の国ではそのような自由の保証がなく、抑圧-迫害の瀬戸際にあると感じている人々がいます。そればかりか、今現在、キリスト教に対する迫害が世界的に蔓延しています。しかし、皆さんはそのことを聞くことはありません。フェイクニュースメディアが違うことを伝えているからです。

ある考えについて話し始めた時のことを思い出します。10年前のことでした。それはどうしても私の頭から離れませんでした。それは強迫観念というべきものでした。それは、このような事実を伴う強迫観念だったのです。

・ 大宣教命令は私たちを巻き込もうとしていた、そしてその結果、間違いなく、国々をどのように弟子化するかという新しいテンプレート（枠組）が理解できるようになった。

- » 誰であれ、影響の門を支配する者に、私たちは直面するようになる。
- » それらの門は、私たちの味方もしくは敵となる影響者によって固くされる。
- » 私たちは、一種の聖なるサブカルチャーとして存在することはできない。私たちは全世界に出ていき、全てのシステムを取り込んでいかなければならない。

それらを列挙し、影響の七つの山と呼びました。それは一つの絵のようでした。そこから今日まで、これほど積極的にそれが実現されていくとは、誰が想像できたでしょうか？誰も、このテンプレート（枠組）について議論することさえしません。

### 影響の7つの領域、もしくは7つのシステム

1. 教会（宗教）は、もちろん、その力強い信教の自由がここにはある、と私は語りました。そして、文化の他の部分とどのように関わったら良いのかをどうにか探り出そうとしています。私たちは世界の他の部分との間に壁を作っている場合が多いのです。

2. ここには、コミュニティーという家族があります（7つの山の教えのうちの、また別の山です）。

3. 教育システムが人々を教育します。

4. 政治システム・法律・最高裁、そして軍隊は全て、政治と呼ばれる、一つの、これまでになく増大し力強い中心のものに集められています。

5. そして、政治のすぐ隣に、メディアの力があり、それは真の預言者としても偽預言者としても機能しうるものであり、大衆をこちらの方向やあちらの方向へ操り、政治と呼ばれるものと一致させたり、逆らわせたりします。

6. そして私たちはさらに、芸術・娯楽へと進んでいきます。ハリウッドやセレブの世界、全米プロフットボールリーグ選手から芸能人、映画製作者まで。そしてこれは高き所となっています。

7. そして、これら全てを一手に引き受けているのがビジネスです。経済的関心が、文字通り、これら7つの領域全ての健全性と実行可能性を左右しているのです。

🗝️ これらの場所において対話を支配する者は誰でも、その国を形作る力を持つ。

文字通り、アメリカはまさに混沌の中にあります。それは大半の人々が混沌の中にいるからではなく、悪魔が、国々を弟子とする方法を教会よりもよく知っているからです。現在起こっていることについて再検討したり、タイミングを計ったりするには、アップデートして新しい地図を取り入れる必要があると思います。この7つの影響の山はすでに確立されたもので、私たちはこのパラダイム（枠組み）を通り過ぎようとしているからです。

## ちょうど良い時


しかし、私はこの大会の名前が『ちょうど良い時』であることが皮肉であるとは思えません。私は何年も、あなた方とつながりを持ち、あなた方に興味を持ち、あなた方を観察してきたからです。あなた方は私の種族の一員です。私たちはたびたび部分的に一致し、また私たちはあるところでは交わり、そしてあるところでは私が語ることができました。主が、私はそのちょうど良い時に行くつもりだ、とおっしゃったと思っていました。しかし私は分かっていたいかなかったのです。主は文字通りのことを言われていたのです。主は、「私はちょうど良い時にそれを行うであろう」と言われたのです。

私は、「主よ、アメリカで国政選挙が行われます。何もかもがバラバラになっています」と考えていました。主は、「ちょうど良い時に。心配しなくてよい」と言われました。ですから、明らかに今、あなた方にお話しすべきときなのです。

## 地獄の門

お分かりのように、この部分（私たちが、地獄の門があると思っているところ）は筋が通っていません。皆さんが地獄の門について話すとき、それについてじっくり話すとき、「わたしはわたしの教会を再び建て上げる」ということが分かります。私たちは未だに、地獄の門とは、ぐるりと取り囲んで浮かんでいる支配の層のようなもの、という抽象的なイメージに囚われています。地獄の門とはどこにあるのか、御説明しましょう。

門とは評議会のことを指します。ここに中国式の門の絵を描きます。アメリカの門より分かりやすいですからね。（ワルノー師、影響の山や領域の頂上一つひとつに門を描く。）

 **地獄の門、または地獄の評議會は、あなたの国を形作るのに最大の影響力を持つ領域に対して支配権を握る、特別な評議會です。**

そういうわけで、アメリカ最高裁の紛争は、あのようにドラマチックで暴力的なのです。最高裁は、数人の手に握られた影響力によって、大規模な変化が起きる、影響の門だからです。

私たちの魂の敵が戦略家であることを考えてみてください。敵は影響力を欲しています。もし、この影響の領域を手にすることができたなら、敵は好きなように物事を変えることでしょう。

## 「飛行機を飛ばしている者」が影響力を持つ

この例えがよく分かる方々がおられると思います。飛行機を例に取ります。この飛行機に、何千人の乗客がいるかは問題ではなく、*誰がその飛行機を飛ばしているか*、が問題です。誰がマイクを持ち、フライト中に乗っている人々に話すかが問題なのです。

ですから、悪魔が機内の3パーセントの人々（パイロット、客室乗務員）を戦略的力を得るために支配したなら、乗客である97パーセントはイヤホンを耳に突っ込んで雑音を遮断し、自分の頭の周りに小さな空間を確保します。しかし間違いなく、戦略的領域はコックピットにあるのです。戦略的領域はマイクのあるところにあるのです。

敵がメディアを速やかに手に入れるのはそういう理由です。娯楽もあつという間に手に入れます。学問の世界を手に入れるのもすばやいのです。

🗝️ これは私たちが現在、格闘している、長時間の戦いです。ミレニアル世代（訳注：米国で、2000年代に成人あるいは社会人になる世代。1980年代から2000年代初頭までに生まれた人をいうことが多く、ベビーブーマーの子世代。インターネットが普及した環境で育った最初の世代で、情報リテラシーに優れ、自己中心的であるが、他者の多様な価値観を受け入れ、仲間とのつながりを大切にする傾向があるとされる。）が成人になりつつあるからです。

大変残念なことに、アメリカの大学教授の70パーセントが中道派ではないことが分かっています。彼らは中道左派です。というよりも、マルクス主義者です。ですから、70パーセントのマルクス主義者がおり、保守で専門職に就いている人はたった8パーセントしか存在しないのです。しかし、政府は現在、皆さんの息子さん娘さんが通っている大学に資金を出し、どのように考えるかではなく、何を考えるかを教えています。

🗝️ 今の大学が学生に教え込んでいることは、アメリカの将来を支える能力をダメにしています。昔、皆さんや私が支えられた方法ではないのです。

🗝️ 学生たちは、成功を収めた誰かの金によって一人の人が傷つけられる、という、『犠牲者－抑圧者イデオロギー』を売りつけられています。

🗝️ もし本当の戦いが何であるのか学ばなければ、国を弟子化することはとても難しくなります。敵が人々にどのような考えを植え付けているかを知らなければ。御理解いただけますか？

## 真理は私たちを自由にする

私たちを自由にするのは真理です。私はかつて、油注ぎや按手や預言、またある種の御使いや分与を求め続けていました。しかしあるとき、私は気づいたのです。

🔑 もし真理があなたを自由にするなら、あなたを虜にするのは偽りである。

🔑 私たちが今現在必要な、最も力ある対策は、皆さんのような人々が、

1. 思いの戦いにおいて敵の侵攻を無効にする、
2. それぞれの領域において、神が思いの指導者として個人個人を建て上げられるような方法によって祈ることです。

一つひとつの影響の領域は垂直です。どの領域もそうです。私たちには、キャンデイス・オウエンス師、そしてチャーリー・カーク師がいます。この二人も領域を垂直と呼んでいます。私が教えてきたこの考え、そして今あらゆるところで取り入れられているこの考えは、違う人々に違う名前と呼ばれていますが、それは全く問題ないのです。

しかし、これらの領域、すなわち教育は強力なものです。次世代を弟子化するものだからです。私の友達に、保守派の教授がいます。彼は、「何を考えるべきか」ではなく、「どのように考えるべきか」を学生たちに求めていたところ、ペパーダイ大学（訳注：カリフォルニア州にある私立の総合大学）からの招へいを取り消されました。彼は学生に自分の考えを吹き込もうとしていたのではありません。自分の立場や思考の中に存在する、誤った推論を見つけ出すにはどうしたらよいかを教えていたのです。そのことについて話し合っていたとき、彼は、「ランス、良かったのはこういうことだよ。大学は今、何を考えるかという泥沼の中で学生たちを訓練するという、とんでもない働きをしている。何を考えるべきかという思いで感情的にがんじがらめになっているんだ。つまり、ほんの少しの真理によって、自分が何を考えているのかに疑問を感じるということだ。」

進み方が早すぎるようでしたら、お許しください。皆さんのほとんどがすでに同じ考えをお持ちだと思いますので。このような選挙サイクルの只中に私がここに立っているのは皮肉なことです。私がここに立っているのは、間違いなく皮肉なことです。

私は、ノースカロライナ州シャーロットに飛び、500人のビジネスマンとのビジネスミーティングを開きました。その時に、大統領が立ち寄るとの電話がかかってきました。シャーロットで合流して欲しいというわけです。そして、私は思いました—大統領のスタッフは、大統領のスケジュールをあまり早く公表することはしません。私は、なすべきことがなせるように奔走しているクリスチャンの国会議員たちにインタビューしたあと、大統領の演説会終了とともにシャーロットを後にしてきたところです。

私はシャーロットからここに飛行機で来ました。ここからまたワシントンDCに飛行機で戻り、そのクリスチャンのグループと一緒に中間選挙のための仕事をします。私たちは今、政治のジェットストリームに乗っています。このメッセージはアメリカだけのものではありません。世界中の人々がアメリカのために祈っています。もしアメリカが下降すれば、全世界の教会の自由を守っている世界の秩序も下降すると分かっているからです。だからこそ、神が何をなされてきたのかを理解することが必要不可欠なのです。

私は昨晚、グラハムと語り合いました。私は自制心がとても弱いので、グラハムが到着していると聞くと、すぐに会いに行ってしまったのです。時差があることなど思いつきもしませんでした。それで今、コーヒーが必要になっているわけです。グラハムと会うのが大好きなので、私たちは午前2時くらいまで起きていました。グラハムには滅多に会えません。彼は私に何か言ってくれましたが、今は思い出せません。

皆さんはとてもはっきりと言ってくくださったので、覚えているでしょう。使徒の働きで、ペテロが二つの質問をしています。「これはどういう意味ですか、そして私はどうしたらよいのでしょうか？」

### **教会にとっての、2016年の選挙の重要性**

たった今起こったことは、どういう意味で、私はどうしたらよいのでしょうか？

皆さんには正直にお話ししなければなりません。2016年に神がなさったことについて、教会はまだあまりはっきりした見方ができておらず、次に何をすべきかについてもあいまいです。

🔑 私が言いたいのは、女性たちに明確にしてもらう必要があるということです。男性たちが混乱するとき、神は女性たちを立ててリーダーシップを取らせる、ということに私は気づいています。

ぜひ、影響の山々を見てください。メディアが、大学が、ハリウッドが、CEOたちやビジネスが、それぞれの場所でどのように影響を与えているか、見てください。

### 今日の戦い—イエスとその相続

たった今、戦いが起こっています。イエスは、御自分の相続を受け取られています。

アップデート、アップグレードについて、もしくは、私が今使っている、「再調整」という言葉について、語りましょう。

昔、ある友達がいました。彼がタイに息子と一緒に来ていたので、私はとてもうらやましく思いました。その息子は20歳くらいでした。私は、「ここで息子と一緒に何をしているんだい？」と尋ねました。彼は、「いや、僕たちは休暇中で、一緒に旅行してるだけだよ。」と彼は答えました。私は、「きみの息子は一緒に休暇を過ごしたいと思ってるの？」と聞きました。

私が自分の子どもたちを休暇に連れて行こうと思ったら、賄賂を渡さなければなりません。子どもたちに行先を選ばせなければなりません。そうすれば、そこに行けるようになるのです。すると彼は、「そうじゃないんだ。ぼくはずっと前に、息子のジェーソンから学んだんだ。子どもが大きくなるにつれ、親は子どもとの関係を再調整し、再構成する必要があるということをね。例えば、子どもたちが自分で決断をするようになるまでは、きみが指揮系統を握っている。その時が来ると、きみは指揮官の位置から評議会の場に移らなければならない。もしまだきみが何をすべきか命令しようとするなら、そしていつも指導しようとするなら、きみは、子どもが問題に直面したときやブレイクスルーを経験したときに電話する最初の5人には入れない。きみは義務的に扱われる親になり、奥さんが、『お父さんのお誕生日に電話しなさいよ』と言うようになる。」と答えたのです。それで私は、彼の言っていることを理解しました。

私はさらに尋ねました。「それにふさわしい年齢はいつ?」。彼は、「いつでもいいんだが、ティーンズの間にした方がいい。何をするかと言うと、特にミレニアル世代にはね、何が起きているかについて会話するようにすること、そして、何をすべきか教えるだけの回答者にはならないこと。それはやめなきゃならない。」

## 再調整

再調整とは、GPSのようなものです。道を外れたと分かると、再調整するのです。私が気づいたことがあります。子どもたちが独立したあと、結婚がうまく行かなくなった友達があります。また、25年とか22年でそのようなことが起こっています。それはどういうことでしょうか。

このことから分かることの一つは、子どもたちが家族をつなぎ止める糊の役割を果たしているということです。子どもたちが出ていくようになったら、夫婦は再調整しなければならないということです。今や、夫婦はお互いが分からなくなっているからです。二人は昔はお互いを知っていましたが、長年の間にどれほど人は変わることでしょうか。私は5年前の私とは違いますし、皆さんもそうでしょう。もし皆さんが成長しているなら、もはや同じ人ではないのです。つまり、皆さんは、新しい情熱・新しい興味・新しい不安・新しい問題・新しい希望・新しい失望を持っているということです。再調整とは、もう一度ギアを入れなおすということです。

私は妻に関して、この観点から考え始めました。家族について、この観点から考え始めました。すると主が、「あなたは、わたしと再調整しなければならない。」と言われました。私は、再調整は自動的に起こるものと思っていました。主は、「それは違うよ、あなたは5年前とは違う、だから、前に会ったのとは違うわたしと出会っているのだ。多く与えられた者は、多く求められる。あなたは多く求める神と出会う必要があり、わたしが求めるものに見合った、より多くの恵みを与える神に出会う必要がある。」と答えられました。

お分かりになるでしょうか？

🔑 主は、「あなたはあなた自身と再調整しなければならない。」と言われました。私は、どういうことだ、と思いました。主は、「あなたは自己認識をアップデートしなければならない。自分が何者であるか、自分の潜在的な力は



何か、自分が陥りやすい落とし穴は何かを再調整の光に当て、自分のデステニーと照らし合わせてみる必要がある。」と言われました。

## 収束理論

50年の年月を経て、ボビー・クリントン（訳注：フラー神学大学教授）がリーダーシップの研究の世界でリーダーシップ危機理論として語っていたこと、また、ピーター・ワグナーもよく語っていたことに、皆さんは足を踏み入れています。それは収束理論と呼ばれます。

🔑 収束とは、神があなたの人生の、前の季節であなたに与えようとしていたもの全てが突然再び巡ってくる時のことであり、失敗も含む、人生の経験の累積すべてが成熟の要因となり、あなたの人生の最も重要な時期に対処していくことです。あなたの最高の成果・最高の遺産・最高の貯金は、あなたの人生の終わりに向かうこの時期にあります。あなたの役割・あなたの課題・あなたの個人的歴史・あなたの賜物・あなたの油注ぎのすべてが収束する時だからです。そして、たいていの場合、このようなことが起こると物事が変化し、あなたはかつてなかった役割に召されていくのです。その役割は、物事を成し遂げるために必要な、より大きな力をあなたに与えます。その物事には、あなたが生まれる前から神が備えておられた特別な賜物があるのです。あなたが、たった今、その場所におられると信じます。

🔑 ここでお話ししているのは、神が世界においてなされていることに基づく、私たち全員のための収束のアップデート・リセット、もし望むならば再調整です。私たち個人の中で神がなされていることに基づいているものではありません。

私たちはみな、ある意味でナルシストです。集合写真を撮ると、人は、自分がどんな顔をしているかはっきり分かっているのに、最初に探すのは自分の顔です。私も同じことをします。例えば結婚写真。自分がどんなふうに写っているか知っています。その写真はいつでも見ることができるのに、それはアナウンスの時間で、妻のジェシカが、ランスかダンサーか誰かと一緒に、詩を紹介していたときだったと思いますが、スクリーンにその写真が写しだされるやいなや、私はグラハムに顔を寄せて、「あの写真を見て。あのころは髪の色が濃かったよ。」と言ったのです。

何が変わったのでしょうか。ドナルド・トランプに会いました。あの写真以降、私の髪は白髪になっていきました。私が乗っていたリムジンは火をつけられました。反ファシズム主義者が抗議し—あらゆる奇妙なことが起こりました。私は、「どうして彼らは私が好きじゃないんだろう？教会ではそんなことはないのに。」と言っていました。私たちは今、何かを再調整しています。

## 再調整の時

ジョージ・バーナ（訳注：アメリカの文化と宗教的動向を調査する会社、バーナ・グループ創設者）は、『*The Day the Christians Changed America*（クリスチャンがアメリカを変えた日）』という面白い本を書いています。皆さんは読まれたかどうか分かりませんが、この本でアップデートされた方が良いでしょう。

このようなことが起こったのだと思います。アメリカの地図を見ると、アメリカが、大きな影響を与えるいくつかの門によって形づくられ、弟子化されてきたことが分かると思います。クリスチャンがそれぞれの場所にいることによる影響力を、人々は過小評価していると思います。皮肉なことに、ドナルド・トランプは過小評価していませんでした。

ドナルド・トランプは歴史上、最も並はずれた大統領の一人です。普通、大統領は私たちの票を集めようと努めます。普通の大統領は私たちと一緒に写真を撮ります。普通の大統領は私たちはランチを共にしても、私たちをさっさと部屋から追い出します。普通の大統領は私たちと付き合っていることで恥をかくといけなからです。

ドナルド・トランプの場合は全く反対です。彼は、クリスチャンは今や1億人の人々を代表していると信じているのです。クリスチャンのうちの6千万人が本物だと考えられています。しかし、トランプは、クリスチャンはアメリカを形作るための、唯一最強の層だと信じています。そして、皮肉なことに、トランプ自身は自分自身をクリスチャンの一人だとは思っていませんが、クリスチャンを愛していますし、少なくとも5回、私も知っている何人かの人々と罪を告白し、救いを受け入れる祈りをしています。ちょうど、皆さんのおばさんやおじさんや親のようなものです。皆さんが信仰をもって訪ねては、そのような祈りを何度もしている、だからその親族は救われているはずだ、という状況です。

トランプが代表するものと言え、それこそ、私との間で皆さんに再調整していただきたい事柄です。神は今、ペルシャのクロス王のような支配者を世界中で立てておられます。私たちが失った収穫とは、魂の収穫のことであると、私たちは考えていました。私たちが失ったものは、実際には、『国々の収穫』なのです。

🗝️ イエスに約束された収穫が失われていくことはない。

ついさっき、私たちは自分に焦点を当てているので、ナルシストであると言いました。私は、私たち皆が興味を持っている、自分の個人的デステニー、自分の召しを再調整したいと思います。そういうテーマの書籍やセミナーやオンラインセミナーは飛ぶように売れます。しかし、あえて言わせてもらえば、あなたも私も消耗品なのです。しかし、イエスに約束された収穫は浪費されていくことはありません。神は約束なさったものをイエスにお与えになります。

これまで私たちは、私たち個人のデステニーばかり見て、国のことは漠然と考えていました。私が成長してきたころには、国々が弟子化されるということを知るよりも、反キリストを信じる信仰の方が強くありました。主がドナルド・トランプを大統領にすると語られているころに出版された本、ベストセラーの本が、『The Harbinger（前触れ）』（訳注：2012年出版、メシアニック・ジューのジョナサン・カーン著のキリスト教小説。古代イスラエル王国の滅亡とアメリカの将来を重ねて描く）であったことから、それは証明できます。100万人がこの本を買いました。解放よりも裁きに対する信仰の方が強かったからです。

ドナルド・トランプが出現して、福音派教会の半分は騒ぎ立てました。神がなぜこのような男を選ばれたか理解できなかつたからです。10人の、正真正銘の、リアルな福音派です。ある時点で、候補者を支持しようという一人の牧師が現れました。そこへ、ドナルド・トランプがやってきます。アイオワの人々がトランプに、「あなたは罪をおかしたことがありますか？」と尋ねた。さてこれはつまり、クリスチャン層に自分に投票してもらいたい、そのためには特定の質問に対する正しい答えを知っていなければならないということです。トランプはそこへ出ていく。そして私は出発前にトランプに会いましたが、トランプは、「これから『福音派』に会いに行くことにしよう。」と言ったのです。まるで『福音派』という希少種の鳥を観察しに行くかのようなようでした。

トランプは、福音派に引用符をつけています。おそらく、ここマンハッタンでは、『フラミンゴ』を見たことがなかったので、アイオワまで『福音派』に会いに行き、「あなたは罪を犯したことがありますか？」という質問を受けたのでしょう。そして哀れなトランプ氏は、「考えられる限りでは、ないです。」と言う。彼を応援している私たちでさえ、「うわ、この男はほんとに賢いな。何にも知らないのか？かんべんしてくれよ。」

そこで人々は、「では、あなたと神さまとの関係はどのようなものですか？」と尋ねる。「私は自分の小さなウエハースと小さなワインを取って...。」冗談じゃない、彼は聖餐式のことを言ってるんだ！「私の小さなクラッカー。私の小さなワイン。」私は、冗談じゃない！と言う。トランプは、神との関係は大体そんなところだと思っている。

トランプがアイオワを離れて戻ってきたとき、物事はかなり珍しい変わり方をし始めた。トランプが、あちらの人々、つまり福音派に対する愛着を育み始めたからです。福音派を本当に好きになり始めたのです。トランプは福音派の中にしょっちゅう入っていき、福音派は彼のために祈りに祈りました。そして、面白いことを言った。「私はクリスチャンやクリスチャン指導者と会って、分かったことがある。」何を言うのかと思いましたね。愛だろうか、勇気だろうか、思いやりだろうか、信仰だろうか、誠実だろうか、ビジョンだろうか。

彼は、「クリスチャンと、特にそのリーダーの中にあるのは、恐れだ。」と言ったのです。自分の軍に兵士を集めるのに最適な方法じゃないですね。「あなた方は恐れている。非課税扱いを失うのではないかと恐れている。あなた方は、政府が、国税庁が追いかけてくるんじゃないかと恐れている。」要するに彼は、自分の主な役割は群れを守る羊飼いか牧羊犬のように、恐れている福音派を守ることだと理解したのです。これは面白い状況です。

私は政治活動うんぬんには関わるつもりはありませんでした。しかし、影響の重要な門の一つひとつの頂点に、偽の使徒的指導者を建て上げようと、地獄の門が狙っているのです。私たちは『山々』という言葉を使いますが、それはつまり影響の門なのです。そして、それらの頂上（山々）が強力な影響の門であることは疑いようがありません。テレビやCNNで誰かの発言を引用するときには、誰それ教授を呼

んだり、ビジネスリーダーを呼んだりします。頂上（山々）一つひとつには、それぞれ独自に、信頼性の階層があるのです。

そこへドナルド・トランプがやってくる。そして、ちょっと待てよ、この男はクリスチャンだというだけじゃないかもしれない、それこそが、神がこんなふうになんを選んだ理由なのかもしれない、と思うわけです。

## イザヤ 45 章—アメリカの次期大統領

確かに、私がここに座っているということと同じくらい確実に、私には「イザヤ 45 章がアメリカの次期大統領だ。」という言葉が聞こえました。私は確認しようと思いました。初め、その言葉があまりにはっきり聞こえるので、偽りの霊ではないかと思いました。でも、つぼみのうちに摘み取ることができるだろうと思いました。私はイザヤ 45 章を開くことすらせず、グーグルで確認しようと思いました。

私は、私たちが 44 代大統領なのか、あるいは 44 代以外の番号なのか、知りたいと思いました。それですべてのことがはっきりするはずでした。そして案の定、バラク・オバマが 44 代大統領でした。私は、「意味が分かった、オバマは 2 回選出されたからだ！」その後、大統領は 1 度選出されて、0 代大統領となると、2 回選出されても辞任するまで、その数字は変わらないということを知りました。

それから私はイザヤの 45 章に取りかかりました。「それゆえに主は言われる、わたしが油注いで諸国を彼の前に下らせたのは、クロスである。わたしはあなたの右の手を支える。」そしてこのように続きます。「わたしがしようとしていることはこれだ、わたしは、暗闇に隠され、埋められている宝を解き放つ。」さらに私が読み進めていくと、このように示されました。「わたしはこれを、わたしの民とイスラエルのために行う。」私はこう考えました。「これは教会だ。これはイスラエルになっていくのだ。」さらに、「あなたは私を知らなかったにもかかわらず。」私は、「神よ！あなたは何をなさろうとしているのですか」と私。次の節。「本当に、わたしは自らを隠す神である。」

神は、思いがけない候補者のうちに御自分を隠されます。神は歴史の中でたびたびこのようなことをされ、人々を困惑させてきました。

🔑 もしあなたが心の中で何が起きているのか分からないなら、あなたの目とあなたの頭が完全にあなたを欺いているのです。

「何てことだ！」私は、ベニー・ヒンがこれについて教えるのを一度も聞いたことがありません。油注ぎか！そして、これは「動くな、壊れるぞ！」というくらい、壊れやすいのです。そして、聖霊を悲しませてはなりません、というようなことです。私は聖霊を悲しませるつもりはありません！

そこに、ドナルド・トランプが入ってきます。ドカーン、ドカーン、ドカーン。フレッド・フリントストーンがベッドロックの町を車で走り抜けるみたいに（『原始家族フリントストーン』、1960年代のテレビアニメ）。そして私は考えていました、御言葉はこう語っていました。「わたしが油注いだ者、彼はわたしを知らなかったが。」

考えてみてください、主を知らないのに油注がれた人を探し求めたことがあったでしょうか。私たちはいつもクリスチャンのために祈ることばかり考えているからです。当然です。もしそのクリスチャンが候補者として不適格であっても私は気にしません。クリスチャンたちが一番知りたいことは、その人が救われているか、主を知っているか、ということなのです。

いいですか、主を知っているからと言って、運転が上手にはなりません。速度制限を破ると罪の意識を感じるかもしれませんが、それによって上手なパイロットや優秀な外科医になれるわけではありません。主を知っていることは、あなたに大きな可能性を与えることは分かっています。皆さんは適格な候補者を求めていましたよね。

これは奇妙なことです。神は、人々を立てようとしている、そして私はそのことについて考えている。どうして私たちは、自らにロボットミ―手術をしたみたいになっているのでしょうか？もちろん、これは全く理にかなっていませんよね。

歴史上、英語圏でイギリス帝国を救うために神が立てられたのは誰だったのでしょうか？それは、ウィンストン・チャーチルでした。ウィンストン・チャーチルが新生しているという証明書を求める人は誰もいませんでした。スコッチと葉巻をか

わるがわる呑みながら、チャーチルは自分の神学を語りました。しかし彼は、ヨーロッパ全体に対する攻撃を、国家社会主義の形を取って現れた怪物のような力の暗闇に立ち向かってキリスト教文明が生き延びていくための闘争であると表現しました。チャーチルは、当時の福音派の人々よりも、キリスト教世界を広くしっかりと把握していたのです。

## 誰が油注ぎを受けているか？

🔑 ポイントはここです。神はリンカーンのような人を立てられます。チャーチルのような人を立てられます。ドナルド・トランプのような人を立てられます。神の民の切なる祈りに応えて、思いもよらないような器のうちに神御自身を隠されていることが分かるのです。ですから、本当の秘訣は、あなたの好きなクリスチャンが選ばれることではなく、敵に最大のダメージを与えられる、油注がれた人は誰かを見つけ出すことです。

## 新しい世界の見方とアメリカの役割

今起きていることは何かというと、新しい見方で世界を見ていただきたいのです。新しい世界の見方とは、再調整のことです。ここには代表として立てられている国々があります。これはアメリカだけの戦略ではありません。アメリカの中だけで行われることですが、それはそういう役割を担っているからです。アメリカは世界の消費の50パーセントを占め、経済を握り、シーレーン（海上交通輸送路）を結び、ならず者国家・帝国を牽制しています。この役割のため、多くの武力衝突があり、また神は何か思いがけないことをなされています。そして、どんなデータベースにも投票組織にもない2000万人のクリスチャンがどこからともなく出てきて、選挙政治の歴史上、最も思いがけない投票となったのです。それまで組織に属したことさえなかった2200万人のうちの88パーセント全員が、将来を懸念して同じ方向にレバーを引いたのです。だからこのような投票結果になったのです。誰も、どこで投票がめちゃくちゃになったのかなどとは言っていません。クリスチャンがグループに属さず、誰もクリスチャンに注目していなかったために、投票がめちゃくちゃになったのです。クリスチャンはほとんど相手にされていません。私たちは奇人変人扱いされているのです。

ともあれ、ドナルド・トランプは悔い改めるべき罪を思いつきませんでした。私は彼から遠ざかろうとしていました。私は、いつもの生活を送ることに戻ろうとしていました。クリスチャンに世界はどのように見ているかを教えること。それぞれの領域がどのように機能しているかを教えること。あなたの仕事を始めましょう。あなたの子どもたちにやる気を起こさせましょう。頂点に進んでいきましょう。尾ではなく頭になりましょう。下ではなく上になりましょう。これ以上、分かり切ったことはないでしょう。なぜなら、そこが影響の門のあるところだからです。

🔑 あなたはここ（影響の宗教的領域）で敵の代わりに支配しようとするのではなく、敵の真っ只中で支配するべきです。お分かりになりますか？

ともかく、私はこのことについての本を出したいと思っていました。何年も温めていました。私は、「さあ、出版しよう。」と言いました。しかし主は、「今はその時ではない。おまえは窓を見逃したのだ。その本は何年も前に出すべきだったのだ。」と言われました。

しかし、これは面白い考えです。聖書でも「その季節の実」と言われていることを御存知でしょう。私たちはいつも、今そこにある実に焦点を当てます。しかしこれはまた、熟成している果物もあるということでもあります。あなたが取りに行かなければ、また取りに行けずそれをどうすることもできなければ、そこに置いたまま進んでいかなければならないのです。

そういうわけで、私の偉大な本はどこかへ行ってしまいました。そして主は、「ドナルド・トランプについての本を書いて欲しい。」と言われました。私は、「ドナルド・トランプだって？なんてこった、今度は私の評判がすっかり地に落ちてしまう。」主は私に上手に気づかせてくれました。「おまえが何者かを知っている人は多くはないから、評判なんて気にすることはない。」それは確かに本当でした。今は評判など気にしません。

そこで私はこの本を書きました。本のタイトルは、『*God's Chaos Candidate, Donald J. Trump and the Great American Unraveling*（神の混沌の候補者、ドナルド・J・トランプと崩壊する偉大なアメリカ）』です。これが起こっていることです。アメリカは崩壊しています。そして神は、大きな建物解体用の鉄球を備えられています。神は、イザヤ45章が次期大統領だと言われたからです。それはクロ



ス王でした。クロスは主を知らなかったにもかかわらず、油注がれたのです。私はクロスについて調べ、神御自身が隠れておられることに気づきました。そして福音派全体がメルトダウンを起こしていました。なぜ神は、私たちが擁護できない人物を選んだのか？なぜマルコ・ルビオじゃないのか？なぜテッド・クルーズじゃないのか？なぜベン・カーソンじゃないのか？なぜマイク・ハッカビーじゃないのか？なぜ？なぜ？なぜ？

私はこの本を、正直に言いましょ、私はとても臆病でした。書かずにいました。握っていたのです。もし大統領選の前に出版すれば、私は従順ということになるが、ダメージを無視することになる。それから、私はこの本に取り組み始めました。この男はクロスと呼ばれるようになる、と書きました。

私は、広まる前にこの新語を作りました。「トランプ錯乱症候群」という言葉で、それをこの本の中で宣言しました。宣言したのです。トランプは世界の支配者としてクロスになぞらえられるだろう、と書きました。本当におかしなことです。

友人が電話をかけてきて、「ランス、本当にそんな本を出すのか？分かってるだろう。ぼくらはきみのことが大好きなんだ。高い評価も受けている。政治のことなんかでその名声を浪費するのは残念だよ。そこからちょっと降りたらどうだい？」と忠告してくれました。

そこで私は主の前に出て、お願いです、私はだまされたくありません。私をだまされないようにしてください。だまされたくありません。こんなことをしなくてもいいと思います、お願いです。主は、「とにかくやりなさい。」と言われました。私は、ユダヤの新年の祭りの間にこの本を出版しました。すばらしいタイミングでした。ユダヤの新年の祭りの期間だったのです。

私の血筋は20パーセントがアシュケナージ系ユダヤ人（訳注：ドイツ語圏や東欧諸国に定住したユダヤ人）です。私はイスラエルにいる親族を訪ねました。仮庵の祭りのときです。そしてそこで外交関係の仕事をしていました。マウント・ザイオン・ホテルに泊まっています。そこで外交官の人たちに会い、仕事をします。15人か20人くらいの、ほとんどがアフリカとアジアの国の人たちです。そこにいると、ある男性がドアのところに来て、「ここに来られる前に、本当にあの本を出版したんですか？回収したらどうですか？『アクセス・ハリウッド』のテープが流出

したし（訳注：2005年に録画された、ドナルド・トランプと芸能テレビ番組『ハリウッド・アクセス』司会者とのわいせつな内容の雑談。ウォールストリートジャーナルが報じ、大きな批判を呼んだ）、どうやって本を回収するか、ダメージを最小限にするかを考えたほうがいいと思いますよ。」と言ってきました。

「なんてこった！ あいつは今度は何をしでかしたんだ？」と私は思いました。外交官たちは15分間の休憩としました。私は部屋へ戻り、ニュースをつけました。ニュースを見て、「そうかそうか、10年前のことか。10年前だ！ どれくらいひどかったんだろう」と思いました。そしてその会話のスク립トを読むと、「これはひどい！」

私が最初にしたことは、ひざまづくことでした。「主よ、なぜあなたは私をだまされることをお許しになったのですか。こんなことはする必要がありません、と言ったではありませんか。なぜなされたのですか？」不思議なことですが、人生の中で、主が祈りを聞いてくださっていると分かるけれども、お答えにはならないという時があるものです。悪魔が抵抗していると分かる時もあります。そして、その時は、神がまるきり聞いてくださってもいけないことが分かる瞬間でした。まるで、神がそこに腕組みをしながら立って、「さあ、もう終わったかな？ 終わったね。」と言っているようでした。

こういうことは聖書にもあります。ヨシュアは主の前にひれ伏していました。イスラエルは打ち負かされました。「なぜあなたは私たちをエジプトから引き出されたのですか？ 私たちは言ったではありませんか。」すると主は、ヨシュアを見ながら、「何をしているのだ。立ちなさい。わたしがこれをしたのではない。」と言われました。私が直面したのはこういうときでした。主がこんなふうに語られる場面だったのです。「おまえはいつまでもそんな風におしゃべりを続けるつもりかね？ 時計は進んでいるのだ。ここでしなければならぬことがあるのだよ。」

そこで、「主よ、何をすればよいですか？」と尋ねました。主は、「口を開けなさい、わたしがそれを満たす。」と言われました。なんてこった。それならもうやった。私は私のペンを明け渡した。それで、こんなトラブルに陥っている。主は言われました。「口を開けなさい、わたしがそれを満たす。」

私はマウント・ザイオン・ホテルの窓から身を乗り出していました。状況はこういうことでした。私がただ一つ考えていたことは、このことについて自分の話を聞いてくれる2万人とこれまでに本を手に入れた6千人くらいの人々に、どうやって話をしようかということでした。私はなんとかダメージを打ち消そうと思いました。そこで、フェイスブックのライブ動画配信に顔を出しました。「皆さんは最新のニュースについてお聞きになったと思います。私は今、エルサレムの丘にいて、ケデロンの谷が見渡せます。ここから外を見ています。面白い場所です。私もアクセス・ハリウッドのビデオについて聞き、主はこのことを御存じなかったのだろうか？もちろん、主は知っておられた。主は、これが非常に破壊的で、こんな衝撃から回復するのはまず不可能だということを御存じなかったのだろうか？と思いました。」私はこのような挫折を、ライブの視聴者の目の前で味わいました。「なぜ主は、悪魔に今こんなことをさせたのだろうか？御自分が何をしているかを、主はもちろん御存知です。ですから、そのことを念頭に置いて、ドナルド・トランプが、悔い改めるべき罪はない、と言っていたことを思い出してみてください。今、彼は悔い改めなければならないことができたのです！ことは良い方に進んでいるのです。」これほどとりとめなく、論理的な説明はありませんでした。「ですから、私はこれが良いニュースだと信じます。まだあきらめてはいけません。彼にはこれは避けようがなく、謙遜にならざるを得ないからです。」

「なぜ主は、トランプを謙遜にしようとされるのでしょうか？主はなぜそうされるのでしょうか？これは割礼です。これは厳しい手術になります。なぜ主はこれをなさるのでしょうか？このようにすることで、彼が大統領になったときに、高く上げられるために、謙遜になっていなければならないからです。このようなことをした後で大統領になるなど、神がなされるのでなければありえないということが分かって、自分の手柄にできなくなるからです。彼が大統領になる唯一の方法は、神にさせていただく以外にありません。そして、これは高く上げられる前の謙遜です。神はサディスティックな方ではないからです。神は人々を傷つけようとしているわけではありません。神はこれを必要な消毒としてなさっておられ、そのために、トランプはこれから来ようとしている大きな驚きを自分の手柄にできなくなるのです。」

私は言っていることを信じられませんでした。自分の偽りの言葉で賭けに出たのです。話し、聞きながら考え、孤立無援で、同時に、何が起こるかうかがっていました。とにかく、私は、今は繰り返しませんが、さらにいくつかのことを語りました。出国するときに警備が必要にならないといいがと思いました。

私はさらに続けました。「そうです、彼は不適切なことを言います。確かに言います。しかし、神が使者を遣わすとき、皆さんは、流れるような衣と弁論と発声を持つ、すてきな、清潔な、輝くイザヤを求めます。それに対して神はどんな人を送りますか？神は、もじゃもじゃ頭でペリシテ人を棍棒で打ち叩く Sampson（訳注：身長2メートル以上あるプロバスケットボール選手の名前）を送られます。確かに、Trump は間違ったことを言っています。自分の言葉のせいで大きなトラブルになっています。しかし、神は Sampson を用い、ロバのあごの骨で敵を打ち叩きます。神は、Trump が何を語ろうとも用いられるのです。皆さんに申し上げますが、この人は過去にペリシテの女性たちとの熱い歴史があるので、それも遅かれ早かれ明るみに出るでしょう。皆さんにお伝えしておきますが、10年前に戻れば、何かしら出てくるはずですよ。

私は続けました。「しかし、Trump は10年間で準備をしてきたと信じます。身づくろいをしてきたと信じます。ちょうど良い時に出てきたちょうど良い人であると信じ、神は教会に何か語っておられると信じます。あなた方があなた方の方法で何もしようとしないなら、わたしはわたしのやり方でやる。敬虔ぶって、『Trump があんなふうについートしなければいいのに。どうしてあんなことを言わなければならないんだらう。』と語ることはしません。神は親切なことをなさっています。神が送られた解放が気に入らないとって文句を言うのですか？ばかばかしい！ソフトドリンクや何かがないからとって、救命ボートに文句をつけているのと同じですよ。これは救命ボートなのですよ！」

ここで私は送信ボタンを押しました。私は部屋に戻りました。これで私のベースとなっている2万-3万、もしかすると5万の人々はカバーできたと考えました。それから、本の方はどうなるか分からない。といっても、1、2週間のうちにけりがつくだろう。

そのとき、私に話しかけてきたあの男性が部屋に来て、「何が起きているか、見ましたか？」と尋ねました。「今度は何だ？」と私は思いました。「あなたが言ったことで。」私は、「私が言ったことって、何のことですか？」と聞き返しました。「戻って、確かめたほうがいいですよ。」

## ちょうど良い時にちょうど良い会話

なんてこった！まるでちょうどその時に、100万人以上の人が見ていたかのようでした。人々は、私から何が出て行ったかを見ることができたのです。なぜか分かりますか？ちょうど良い時に、ちょうど良い会話をすると、あっという間に広がるのです。

私の偽りを知らない300-400万人の人々がいて、私が賭けに出たのを聞いたのです。私は、ユダヤ人の保険の仕事をしていたはずなのに、気がついてみたら量販店になっていたのです。

この事実のあとで、全てが言い尽くされたあとで、私はここに何かもっと大きなものが働いていることに気がつきました。このところを皆さんにつかんでいただきたいのです。特に皆さんには大きなとりなしの力があるからです。大きな影響力があるからです。

皆さんに御言葉をお分かちしたいと思います。見るべき御言葉はたくさんありますが、これこそが今見るべきものであり、かなめとなるからです。イエスが約束されたところ、そして御自分の相続を国々に約束されたところにさかのぼりたいと思います。魂とは国々です。もし皆さんが魂を求めるなら、国々を求めてください。もし釣りに行きたいなら、釣り糸を持っていきますが、網を持っていくこともできます。網を使えば、国の戦略を用いることになります。釣り糸を持っていくなら、個人伝道をするることになります。どちらも役立ちます。

これを黙示録21:24で見てください。「国々が、（神の）都の光によって歩み」（訳注：原文のNIV版に従い、「神の」を付加）。神の都とは何でしょうか？それは花嫁のように天から下ってきます。花嫁は都のようです。「地の王たちはその栄光を携えて都に来る。」これはNIV版です。欽定訳だと、もう少しシェークスピア調で威厳があります。「都の門は一日中決して閉じることがない。そこには夜がないからである。こうして、人々は国々の栄光と誉れとを、そこに携えて来る。」（21:25-26）

## 国々の栄光

少し、国々の栄光についてお話しさせてください。国々の栄光。これについてしばらく考えてみましょう。国々の栄光。主は私に言われました。ドナルド・トランプは、ポリティカル・コレクトネス（訳注：政治的妥当性。差別・偏見を防ぐ目的で、政治的・社会的に公正・中立な言葉や表現を使用すること）の霊に対する鉄球（wrecking ball、建物解体に使う）である、と。ドナルド・トランプが姿を現したとき、ちょうどマイリー・サイラスのシングル『Wrecking Ball』がリリースされ、誰もが注目していたときだったので、主は、それが出てきた瞬間に、ドカーン、ドナルド・トランプはポリティカル・コレクトネスに対する鉄球だと言われたのです。

アフリカ系アメリカ人の二人の男性がトランプのチームにいました。二人はアトランタで私と会って、テレビの生番組で対談したいと言ってきました。私はアトランタへ飛び、とても美しくエレガントに服装を整えた二人に会いました。私はたとえば、いつもながら、ユダヤ人会計士らしい格好でした。私はそこに突っ立っていて、みんな、テレビのセットの方へ行ってしまいました。彼らは話し始めました。そして、突然、番組の司会者がこちらを見て、私を指さしました。彼は、「おや、今日は誰が来ていると思いますか？」と言ったのです。私は、「おや、私が誰かを知っている人がいる。」と思いました。「重要人物が来られています。この人はトランプ・オーガナイゼーション（訳注：トランプ氏の所有する複合企業）のナンバー2です。ドナルド・トランプの顧問弁護士です。皆さん、マイケル・コーエン氏をお呼びしましょう！」そう言って、私を呼んだのです。私はそこに、アトランタの生番組に突っ立っていました。

私は大きな葛藤を感じました。世界に対して、私はマイケル・コーエンではないと言わなければならないという義務を感じたからです。奇妙な雰囲気の流れ、私は思い切って、「私はマイケル・コーエンではありません！」と言いました。「えっ？」と司会者。私はもう一度、「私はマイケル・コーエンではありません！」と答えました。

司会者は、「それなら、何か言ってください。」私は、「ドナルド・トランプはポリティカル・コレクトネスに対する鉄球です。どうも。」と答えました。

私は下がり、端の方に行って、「なんてこった。今ここは私のいるべき場所じゃない。ここにいたら骨抜きにされてしまう。」

しかしその時、私はあることに気がつきました。国々の栄光を、主が明らかにして下さろうとしていることに気がついたのです。この章に必ずしも関わっていなかった私たちのうちの多くの者を連れていこうとなさっているのです。

🔑 収束はしばしば、新しい役割と新しい課題と共に訪れ、再調整は私たちを新しい方向に導きます。

その当時、私は政治関係のことに関わる気はありませんでしたが、その時気づいたのです。組織が崩壊し、結婚や教会やそういったものが崩壊し、メディアと教育、そして娯楽、また政党が、要塞によってどんどん喰い荒らされ、乗っ取られ、国々を一つの方向に押しやるために影響力の門を利用しようとしている。この状況では、ロード・オブ・ザ・リングの小人ホビットのように、選択の余地はなく、出ていかなければなりません。居心地の良い村を飛び出し、魔法の指輪を首から下げて。私たちは悪のはびこる地へ出て行って、何かをしなければならないのです。

🔑 時のしるしを見ると、天でも地でもすべての力を与えられ、制空権を手に行っている者として、私たちに選択の余地はなく、出ていかなければいけません。

## 羊の国と山羊の国

それから私は、栄光ある国々を見るようになりました。そうした国々はすべて、アメリカのために祈っていることに気づきました。それから、何か奇妙なことが起こっているのに気がつきました。それはマタイ 25 : 31 - 46 で、それはあとでお話しします。それは、人の子イエスが戻って来られるときであり、御自分の前にすべての国民を集め、羊飼いが羊と山羊を選り分けるように、人々を分ける時です。

この御言葉は、皆さんが再調整しなければならない箇所です。私たちのほとんどが携拳という考え方を握っているからです。私たちの世代は、携拳に焦点を当て、反キリストに焦点を当て、出ていくことに焦点を当て、終わりの時の収穫に焦点を当ててきましたが、それはいつも魂のことであり、ラインハルト・ボンケ・スタジア

ムのような大聖会や数多くの奇跡のことでした。今、ゲームは変化し、私たちはもっと成熟した理解へと再調整しなければなりません。国々のことを言っているのです。国々のことを言っているのです。国々というとき、教育・メディア・芸術・娯楽などの組織はたった今、国々の民の心を形作っているのです。


国々には2種類あります。最終的に山羊の国になる民と、羊の国になる民があります。かなり真面目な話になります。なぜなら私は気がついたからです。ドナルド・トランプが、これは驚くべきことでしたが、ドナルド・トランプが登場し、みじめな思いをした瞬間。すべてがめちゃくちゃでした。そこでトランプは決めたのです。彼は物事を進め、絶えず何かをしていきたい性質です。だから、何かに妨げられるのは、良くないことなのです。何かしようというアイデアが浮かんだら、妨げられてはいけないのです。そして自分の考えはすばらしいのです。神は御自分の方法でこれを取り扱われました。ある晩、トランプは決心しました。「私は大使館をエルサレムに移す。私はとにかくここからあそこへ移すんだ。」

そのようにして、トランプは大使館をここからあそこへ移す決断をしました。そのことを発表しました。国務省はすっかり混乱しました。その決断について誰にも相談していなかったからです。ただ自分ですと決めたのです。ツイッターは午前2時に出されていきました。何が何でもしなければ、というようでした。

## 歴史的に重要な年

さてこれから、歴史的に重要な年についてお話しします。アグローは50年間存在し続けてきました。最初のシオニストの財団が築かれてから120年です。イスラエル建国のためにヨーロッパで最初に作られた組織です。それから、国際連合創立後70年で、イスラエルが建国されました。70年目という年についてお話ししています。エルサレム再占領から50年目。シオニストの財団ができて120年目。

私たちはたった今、神の宇宙の数値と境界とが崩されることについてお話ししています。

 皆さんは、一つの瞬間をまたぎ、全く新しい章に足を踏み入れました。この章は、クロスのような指導者たちの時代であり、羊の国と山羊の国が形づ



くられます。このことを知っている必要があります。ここから大きなテンプレート（鑄型）が与えられるからです。

私が研究していたとき、アイデアを説明する図があると、平均的知能指数が9ポイント上がる、と言われたことがあります。ですから私はいつも、ナプキンに絵を描こうと努力しているのです。ナプキンの上に描けるということは、自分自身でよく理解したということになるからです。

つまりこういうことです。クロス王トランプが登場します。大使館をエルサレムに移すと決定します。そのとたん、世界中に動揺が起こります。これはどういう意味でしょうか？純粋にテレビで予想された人々のことでしょうか？これだから、ホワイトハウスに経験のない男を入れるのは嫌なんだ、と思われるでしょう。トランプは国務省に耳を傾けないからです。この問題を20年も30年も研究してきた人々からヒントを得ることもしない、それどころか、ドナルド・トランプは誰も信頼していないというのが本当のところです。トランプは知りたがりです。たくさん質問をします。そして、自分だけの結論にたどりつくのです。

そういうわけで、トランプは大使館を動かしました。大使館を動かすのとほとんど同時に、私は、イザヤ45章にあるように、この男はクロス王のような者だと言っていました。私は、オンライン雑誌『サロン』、『フォックス・マガジン』、『ニューヨーク・タイムズ』から攻撃を受け始め、私が福音派だという理由で非難しました。そしてさまざまなレッテルを貼りました。『ダラスの伝道師』という名前が私のお気に入りです。『ダラスの伝道師』についてリベラルの人が聞くとほのぼのとした気分になるからです。「『ダラスの伝道師』、ランス・ワルノーが、トランプは聖書の登場人物のようだと述べた」。人はこんなことをどうして信じられるのでしょうか？

私は、グーグルのアラート機能をオンにし、私の頭がおかしくなったという、ネガティブな記事が出ると通知が来るようにしました。マスコミは、メサイア大学（訳注：ペンシルベニア州にある私立のキリスト教系大学）を訪ね、教授にインタビューしました。「ランス・ワルノーのような人が、ドナルド・トランプがクロス王のような者であるなどと言えるのですか？どうしてですか？」「そういうことは時々あります。本能的な神学と呼ばれるものですよ。そういうクリスチャンは、器を見つけ、その器と人を結びつけ、その器がその人になってしまうのです。」

私は電話を受けました。このことに関して、コメントがありますか。なんてこった！イザヤ45章。そしてちょうどその時、ドナルド・トランプが大使館を移したのです。これはとても愉快でした。事前に知っているべきだった。エズラ1章1節に書いてあったのです。「預言者エレミヤを通じて与えられた主のことば、70年後にわたしはわたしの民を帰らせる。そして主は、クロス王の霊を奮い立たせ、神の民はエルサレムへ帰還して良いというおふれを出させた。」まさにこのことが聖書に書かれていたのに、私は読んでいなかったのです！

ともあれ、マスコミが私を非難し、私が本能的神学について、この男はいったい何を言っているんだと、少々反論を書いている間にベンヤミン・ネタニヤフがホワイトハウスを訪問しました。イスラエルの首相がドナルド・トランプに会いに行ったのです。ネタニヤフは訪問して、こう言いました。「大統領、ユダヤ人は昔のことをよく覚えています。2500年前にクロスが、私たちの民に帰還するよう法令を出したことを覚えておられますか？大統領、私たちは、あなたが歴史的なことをして下さったので、あなたのことを同じように記憶することになります。」

## クロスのような支配者たち

クロスのような支配者たちについて知っておくべきことがあります。

🔑 クロスのような支配者たちは教会に肩透かしを食らわせることがあり、教会は再調整が必要です。神は、国々の栄光を解き放ちたいと思っておられます。国々には栄光があります。黙示録には、その栄光が立ち上がる、それは国々とその王たちの栄光であると書かれています。自らの『王としてのアイデンティティ』を見つけ出しているのは、民なのです。その栄光を掘り出す、カギとなる人物がこの民なのです。

🔑 自らの王としてのアイデンティティに歩んでいる民が、国々の栄光を掘り出します。

## 国々の栄光とはなんですか？

それは、一つの国がその民を通じて神の栄光を現せるように、神がその国の内側に埋め込まれた、隠された属性です。それは、この部屋にいる一人ひとりが違っているようなものです。

🗝️ 一人ひとりが個々の栄光を持ち、それを現すのです。しかし、皆さんが民のグループとして一つになるとき、主に映し出される集合体としての栄光を現すのです。お分かりになりますか？

例えば、アメリカを例に取って、動機づけとなる賜物を見ると、預言者・支配者・勧める人・憐れむ人・与える人の役割があります。こうした、動機づけとなる賜物は、一つの国に与えられた栄光の一つの側面に過ぎません。

## アメリカ、預言者の国

アメリカは預言者の国です。私たちは常に預言者の国であり続けています。だからこそ私たちはいつも革新的なことを考え出すのです。私たちは限界に挑み、アイデアを思いつき続けてきました。私たちはアイデアの国です。私たちは絶えず革新的なことを考え出してきました。それができるのは純粋な預言者です。それは絶えず新しいアイデアであり続けます。絶えず。そして、飛行機や道路や石油や燃料や車やコンピューターが留まることなく産み出されているのです。それは預言的なことなのです。

そして私たちは常に新しいアイデアで世界に挑戦しています。メキシコを見ると、これはしもべの国です。しもべの国は私たちの下にいます。カナダは憐れみの国です。そのために彼らはいつも、寛容でいようとしているのです。

私たちの中に、預言者があり、憐れみがあり、しもべがあります。

国々は異なったレベルの栄光を持っています。それぞれに栄光を現します。ある国の栄光が何かを理解すると、明確な表現と現れを支える方法が分かります。これについて考えてみてください。これについて理解できていなかったことを理解する必要があります。

アメリカの金融市場ではビッグプッシュ理論（訳注：開発途上国が低所得→低教育→低所得という貧困の悪循環から抜け出し、成長を遂げるために、海外からの大きな一押しが必要だという理論。開発援助の根拠として使われる。）が盛んに言われ

ていて、市場関係者は世界共通の一つの政府を望んでいます。グローバル化を望んでいるのです。グローバリストとはどんな人か、分かりますか？

🔑 **グローバリストとは、自国の栄光にはあまり関心がなく、自分の企業の繁栄を重視する人です。**

グローバリストは世界全体を一つのごたまぜ、宇宙のシチューのようなものだと思っています。

使徒 17：26－27 神は、ひとりの人からすべての国の人々を造り出して、地の全面に住まわせ、それぞれに決められた時代と、その住まいの境界とをお定めになりました。これは、神を求めさせるためであって、もし探り求めることでもあるなら、神を見いだすこともあるのです。

神は国々に境界線を設けられます。神はあなたの寝室にも境界線を設けられました。あなたの家に境界線を設けられました。あなたの教会に境界線を設けられました。

🔑 **境界線は、魔術があなたの権威を侵害することを止める唯一の方法です。**

**それは大きい**

あなたが将来見るもの、この政治の事柄はより大きく、より大きくなるものです。イスラエル旅行の時に中国のある男性が言っていましたが、私を脇に呼んで、「7つの山なんてないですよ。1つだけです。」何？「中国には一つしか山がありません。政府です。」

確かにそれは本当です。過去1年の間に、中国は、軍事よりも国民の監視の方により多くの金を投じてきたことを、御存知ですか。中国は国民の支配の計画を立てています。もし18歳以下なら、親と一緒に教会に行くことは許されなくなりました。中国は今にも衝突しそうな全体主義の列車です。ドナルド・トランプは大きな衝突を起こす鉄球です。多くの人々がこのことを見逃しています。

国々の中には、宗教的領域でコントロールを失っているところもあります。キリスト教にはそれは今起こっていません。他の宗教で起こっているのです。政府と宗教、この二つが調和を乱すと何が起こるのでしょうか？この二つが、国々の民の栄光を支配する力を奪ってしまうのです。

イエスは何と言われたのでしょうか。イエスは高い山に登られました。サタンが高い山へ連れていったのです。サタンはイエスに世界中の王国とその栄光を見せました。その栄光はこれから来る栄光ではありません。それは覆いがかけられた栄光なのです。

### 覆いが取り除かれる栄光

🔑 私たちの仕事は、キリストの体のうちと国々の内側にある栄光の覆いを取り除くことです。

お分かりになるのでしょうか？今お分かりにならないなら、なぜオルバーン・ヴィクトルがハンガリーで立ったのか、なぜポーランドが立ち上がったのか、なぜブラジルで大統領だった男が最近再選されたのか、理解できないでしょう。これらの人々はクロス王タイプの支配者です。そしてクリスチャンは、選ばれたリーダーがクリスチャンかどうかのみ集中するので、クロス王というポイントを見逃してしまいます。何人かはクリスチャンですが、それは問題ではありません。

問題は、彼らが産み出そうとしている世界観がどのようなものかということです。彼らは、自国のユダヤ・キリスト教という基礎を復興しようと試み、また、そのことを公言しているので、その本当の力が示されているのです。

連鎖的な反応が起こっている今、山羊の国々と羊の国々が存在しています。そして多くの場合、教会はこの戦いにどのように関わったら良いか分からずにいます。まるで、エリコの城壁がバタッと倒れ、私たちはそこに座ったまま、「一体全体何が起こったんだ？私たちはどうしたらいいんだろう？」と言っているようなものです。

私たちはアップデートが必要です。このアップデートとは、あなたの国が神の栄光の元に来ることであり、あなたの仕事は、あなたの国におけるこの栄光の覆いを取り除くことです。あなたは、栄光調査員です。栄光は、教会によって現されるからです。

大胆な考えがあります。アメリカには私たち地域教会があります。しかし、私たちは具体的にはどのように政府に影響を与えるのでしょうか？具体的にはどのようにメディアに影響を与えるのでしょうか？具体的にはどのように芸術に影響を与えるのでしょうか？これは力あることなのです。

マタイ 18 : 20 ふたりでも三人でも、わたしの名において集まる所には、わたしもその中にいるからです。

ダニエル、シャデラク、メシャク、アベデネゴはどのようにバビロンを形作ったのでしょうか？彼らはシナゴグ・リバイバルを起こすことで、影響を与えたのではありません。それは許されていませんでした。4-5人で個人的に集まることで影響を与えていました。彼らは集まると、神の栄光を探し求め、神は彼らの家で御自身を現されました。家で彼らは啓示を受け、それが帝国を変えていったのです。

**アグロー、あなた方は戦略的に、また霊的に置かれている**

🔑 特定の影響の領域に焦点を当てた、小さな集まりに力があることを理解していますか？

🔑 もし神があなたがたに、特定の州・郡・市を割り当てられ、2-3人が集まって、様子を見てみると、主はその特定の領域に関わる人々とあなたがたを結び合わせられます。その人々と集まり、その人々ととりなし、その人々について預言し、その人々に火を注いでください。神はその競技場に御自分の民を置かれているからです。その人々は、一つの領域に天が来るように祈り、解き放つことのできる、統治の権威を自分たちが持っていることを知らないからです。

マタイ 16 : 18 わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。ハデスの門もそれには打ち勝てません。

🗝️ もしそこに門があるなら（影響の領域に関して）、教会はそれを勝ち取りにいかねばなりません。

🗝️ 改革はどこから来るものでしょうか？ドナルド・トランプが破壊の鉄球であるとしても、彼はものを破壊しているわけではありません。彼は起こってはならないことが進むのを阻み、建て上げなければならないもののために場所を作っているのです。何かのために場所を作るとは、そのものための場所を獲得するということです。

改革は常にトップダウンで起こります。リバイバルはボトムアップで起こります。草の根運動です。草の根は火をあおります。影響の領域（山）は『大きな薪』です。草の根は『焚き付けの木切れ』で、火がつくのを早めます。もしそれが強く燃えるなら、それは山の頂上に影響を与えます。もしそれが山の頂上に影響を与えるなら、改革はゆっくりと進みます。

リバイバルは速やかに進みます。

国々はリバイバルのために変わることはありません。国々は、リバイバルの持つ影響力によって、制度が改革されることによって変わります。

### 国民の栄光を解き放つための大使たち

🗝️ 影響の頂きに行く大使として用いられたいという方はどのくらいいらっしゃるでしょうか？

- » 私の発見によれば、あなた方はそれをする人になる必要すらありません。
- » あなた方はとりなし手となり、召しを受けた他の人々がなすべきことをできるように火をつける人となることができます。

## 好意と影響の門

主はこのことを解き放って欲しいと思っておられる、と私は信じます。影響の門をあなた方に与えようとされている、と思います。好意と影響の門を与えようとされている、と思います。私はそのことを至る所で見してきました。政府は問題ではありません。アラブの国々。ヨーロッパの国々。アジア。不思議なことです。そうした場所を通して、大使たちが通り抜けるために門が開かれているかのようです。

🗝️ 終わりの時の国々の収穫を得るために、世界中に、クロス王のような人々が配置されています。クロス王のような人とは何でしょうか？

- » クロス王とは、固い信念の基準を持った人で、それは神によってその人の内側に埋め込まれ、正しいことと誤ったこと、その国が前進するために必要なことを見分けることができるのです。
- » この世に生まれる前から、そのことをする勇気を持っていた人たちです。

## 獅子の顔、小羊の心

一人のアーミッシュの男性が私に預言していました。彼は、主がこれを私に見せてくださいました、と言いました。よく聞いてください、それは決められたある瞬間のことです。それは幻でした。天から巻き物が下りてきました。1つの指が下りて行って、決められたある瞬間がある、と言いました。歴史の中で、神が、獅子の顔を持ちながら、小羊の心を持つ人々を立ち上がらせるときが来る、と。彼らは宗教的には見えないが、決められた瞬間に何をすべきか知っている、と。

私はこの預言を忘れることはありませんでした。「何てことだ！私たちは神がリーダーとして油注がれた者を探し、その人々と並んで歩き、なくてはならない相談相手・カウンセラー・とりなし手・友となって、彼らを与えられた使命を成し遂げられるようにしなければならない。国々の栄光が現されようとしているからだ。」と思いました。

- » だから皆さんは参加しなければならないのです。
- » だから皆さんは、宗教的な組織の中からは行っただけではいけないのです。



- » あらゆる組織、あらゆる影響の場所に入り込んでいかなければなりません。

## 大覚醒

お分かりでしょうか？リバイバルはボトムアップで起こります。改革はトップダウンで起こり、大覚醒が起こるのです。

## 終わりの祈り

- » たった今、この部屋で、立ち上がろうとしている大使たちのために祈ります。私が存在すら知らなかった場所へ、あなた方が入って行って私を驚かせたときのように。
- » ここにいるすべての人々が影響の門に進んでいき、そこに属する人々を力づけ、進んでいく必要のある人に励ましを与えることができるよう、祈ります。
- » 丘の上にあって輝く町のようにになっていく人々のために、祈ります。父よ、神の栄光が地上の国々に急激に侵入して行って、すでにその国々にある栄光の覆いを取り除いていきます。
- » 国々の世界的な大収穫が始まることを祈ります。
- » 父よ、感謝します。とりなし手の上に掛けられた使徒的・預言的・統治的マントをシフトさせて下さっています。天が地を侵略するときにとどのようなことが起こるのかを非常にはっきりとさせ、具体的に表して、とりなし手たちが信じ、同意できるようにして下さいます。

主よ、感謝します。主よ、感謝します。

- » 主よ、感謝します。私たちが年取っていくときにさえ、あなたは私たちの肉の体を活発にして下さり、年を取った私たちが、神、主よ、私たちが収束帯に入ることができ、私たちが重大な時に入っていることを知り、自分たちが命に限りある者であると知りつつも活発にして下さる恵みが来ることをも知っています。
- » 私たちは年を取っていくゆえに謙遜になります。ですから、主よ、私たちは次の世代と共に走ることができ、この競争を受け継いでいくために必要な、かけがえのないインプットを彼らに与えることができます。
- » 私は今この時、あなた方の息子たち、娘たちのために祈っています。

- » 神は、世帯を、そして家族を導き入れています。
- » 神は、家族の遺産を一致（アライメント）に導いています。
- » 神は、アブラハム・イサク・ヤコブの世代を一致（アライメント）に導いています。
- » 神は再調整しています。私はこのことを預言しました。神は再調整し、あなた方自身の血統を、あなた方の家に対する高い召しとの一致（アライメント）に導いています。
- » あなた方が見たことのなかった場所にギャップがあります。そこは言わば、政治やメディアに関してあなた方が眉をひそめてきた場所であり、国々の思いと心を捕えようとする戦いがあり、聖霊なる主があなた方を召し、誤りに対する解毒剤となるように命じておられます。
- » あなた方は暗闇に対する防壁を修理して建て上げようとしています。イエスは御自分の相続を持っておられるからです。御使いたちはこれに加わろうと待ち構えています。このことが起こるのを待っている御使いたちがいるのです。大いなるイエスの御名によって、アーメン。

2018 US National Conference: Friday AM Session - Lance Wallnau